

平成27年度 事業別予算概要

事業名	81100	消防本部運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
	種別			8	消防費	基本分野		5	基盤・安全	実施計画事業				
担当課	消防総務課	内線	2119	項	1	消防費	実施計画事業	分野	9	消防	H27実施計画額	千円		
				目	1	常備消防費		施策概要	2	消防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との連携を強化する。 119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財産を守る。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部の運営、関係機関との連携・調整、大野郡白川村の消防事務の受託 119通報に迅速に対応できるよう、高機能指令センター及び消防救急デジタル無線の維持管理
	対象者数	93,308 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> 通信指令装置の維持管理 防災ヘリの県への継続要望 						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	119番通報受信件数	件	目標値	0	0	0	0
	実績(見込)			7,584	7,246	7,176	
活動指標	災害出場件数	件	目標値	0	0	0	0
	実績(見込)			4,155	4,378	4,320	
成果面	算出根拠等	実績	達成率(%)				
	算出根拠等	実績	達成率(%)				
補足	算出根拠等	実績	達成率(%)				
	算出根拠等	実績	達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 防災ヘリについては、必要性等継続的な県への働きかけが課題。 施設の維持管理については、あらゆる面での節約が必要。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 防災ヘリについては、引き続き県への要望を続ける。維持管理費については節約に努める。 通信指令回線・病院間等の連絡体制は必要であり、災害時の消防無線を含め、通信機器の保守を継続する。 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 消防救急デジタル無線システム及び高機能消防指令システム機器を適切に保守管理する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除く、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	44,953	43,854	54,054	52,670
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	475	467	579	564
	受益者	高山市民及び白川村民	(B)	94,616	93,807	93,308

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部運営に関する企画・統制に係る事務 人事、予算、庶務等消防組織に関する事務 全国消防長会等、消防本部に関する各種会議の対応 NTT局舎使用料 	要求のポイント	デジタル無線及び高機能指令システムによる消防体制の充実	事業実施の課題	防災行政無線設備を設置しているNTT施設を賃貸借して無線設備を追加設置する必要がある。
------	--	---------	-----------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		54,054	52,670	△ 1,384	49,685	49,685	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	316		△ 316				
	その他	10,029	16,176	6,147	8,765	8,765		
	一般財源	43,709	36,494	△ 7,215	40,920	40,920		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	81110	消防署運営費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	・市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
	課			8	消防費	基本分野		5	基盤・安全					
担当課	消防総務課		内線	項	1	消防費	実施計画事業	分野	9	消防	H27実施計画額	千円		
	目	1		常備消防費	施策概要	2		消防体制の充実						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	・地域の防災拠点である消防施設の災害時に即応できる体制を常に整え車両や機械器具等の適正な維持管理を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理(うち、白川出張所は白川村から消防事務を受託している。)
対象者数	93,308 人						

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	・消防庁舎(本署、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理							
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	庁用燃料費(灯油使用量)	L	目標値	63,600	62,400	60,000	60,000	
			実績(見込)	53,592	51,448	51,480		
	算出根拠等 実績		達成率(%)	84	82	86		
			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等		達成率(%)						
		目標値						
		実績(見込)						
算出根拠等		達成率(%)						
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・施設の老朽化に伴う維持修繕等維持管理費の増大等経費はかさむが、どれだけでも経費の削減に取り組む。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・消防施設の維持管理について適正に行う。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・本署・3分署・4出張所の維持管理費用を節約するとともに、維持改善に努める。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・出張所の統合なども含めた消防体制について検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	26,347	26,986	29,813	34,613
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	278	288	320	371
	受益者	高山市民及び白川村民	(B)	94,616	93,807	93,308

5 予算編成(Action2)

事業内容	・消防署(分署・出張所含む)の運営 ・署所の維持管理費 ・署所の庁用関係事務	要求のポイント	維持管理費(庁用燃料、電気使用料)の増	事業実施の課題	・施設の老朽化に伴う維持管理費の増大
------	--	---------	---------------------	---------	--------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		29,813	34,613	4,800	29,336	29,336	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	2,354	2,733	379	2,354	2,354		
	一般財源	27,459	31,880	4,421	26,982	26,982		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	81120	予防事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
	款			8	消防費	基本分野		5	基盤・安全	実施計画事業				
担当課	予防課	内線	2118	項	1	消防費	実施計画	分野	9	消防	H27実施計画額	千円		
				目	1	常備消防費		施策概要	1	予防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	市民生活の安全を守るため、火災予防対策や啓発活動の実施などにより、防火意識の高揚や防火知識の普及を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	防火対象物や危険物施設等の立入検査や講習会等を実施する。
	対象者数	93,308 人		火災予防運動や住宅防火対策等の啓発活動を実施する。			

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> 立入検査年度計画の作成実施と違反是正 防火管理講習の企画運営と受講促進 春季、秋季火災予防運動及び文化財防火デーに伴う実施計画の作成実施 住宅用火災警報器設置対策実施計画に基づく広報及び戸別訪問、電話連絡実施 危険物安全協会や飛騨火災事故防止協議会の事業への参画 						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	防火対象物・危険物施設の立入検査	件	目標値	857	798	800	800
	算出根拠等	査察計画	実績(見込)	751	689	800	
活動指標	防火管理講習の実施	回	目標値	3	3	3	3
	算出根拠等	実績	実績(見込)	3	3	3	
成果指標	住宅用火災警報器の設置率	%	目標値	90	95	100	100
	算出根拠等	届出件数	実績(見込)	94	97	98	
成果指標	防火管理講習修了証の交付人数	人	目標値	100	100	100	100
	算出根拠等	実績	実績(見込)	105	110	100	
成果指標	火薬類(煙火)の消費許可	件	目標値	27	29	35	31
	算出根拠等	実績	実績(見込)	29	35	31	
補足	<ul style="list-style-type: none"> 火災予防業務は、全般的に法規制の許認可等により、市民が安全、安心して生活できるよう展開している。 						

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 製品火災の原因判定など、複雑化する火災調査に対応するため、調査員の知識、技術を向上する必要がある。 消防力の整備指針第34条第3項の規定に基づく予防技術資格者を養成し、署所配置の充実を図る必要がある。 権限移譲事務について、新たに専門的な知識、技術の習得や研修が必要であり、全体的な事務量の増加を踏まえた物理的、具体的な検討が必要である。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 火災調査員の知識、技術を向上するため、階層別研修を継続実施する。 住宅用火災警報器設置推進について、設置率がおおむね100%に達したため、維持管理の啓発を主眼とした計画を作成する。
次年度の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	<ul style="list-style-type: none"> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 <p>(担当課評価に同じ)</p>

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	856	958	1,040	1,251
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	9	10	11	13
	受益者	高山市民及び白川村民	(B)	94,616	93,807	93,308

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 火災予防運動・住宅防火対策等の啓発活動 防火対象物・危険物施設等の防火保安体制の充実 火災原因損害調査 高山市防火協会に対する補助 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 火災予防の啓発に要する経費を計上 権限移譲に係る許認可事務に要する経費を計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 高山市火災予防査察規程等に基づく立入査察の実施と違反是正 予防業務に関する研修計画(火災調査員の階層別研修含む)の実施 住宅用火災警報器維持管理の啓発を主眼とした計画の作成と、それに基づく啓発強化 予防技術資格者の養成 予防技術(火災調査含む)の伝承と向上 権限移譲に係る専門的な知識、技術の習得や研修
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,040	1,251	211	1,030	1,030	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	783	1,099	316	859	859		
	その他	257	152	△105	171	171		
	一般財源			0				

平成27年度 事業別予算概要

事業名	81130	警防事業費	予算	会計	1	一般会計	総 計 画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
	款			8	消防費	基本分野		5	基盤・安全	実施計画事業				
担当課	警防課	内線	2117	項	1	消防費	施 策 概 要	分野	9	消防	H27実施計画額	千円		
				目	1	常備消防費		施策概要	2	消防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両、消防資器材、救助資器材及び水防資器材が常に最適な状態を保つ。 緊急消防援助隊訓練、消防救助技術東海地区指導会及び岐阜県警防技術発表会等の訓練に参加することにより、技術が向上する。 上記により火災、救助事案等で被災した場合、最小の被害を抑える。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 消防本体内訓練の実施や、県単位訓練等各種訓練、研修会への参加による災害対応能力の強化。 車両の安全運行に係る法定検査の実施と、適正な資器材管理整備による隊員の公務災害防止、安全管理の徹底。
対象者数		93,308 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25実績	<ul style="list-style-type: none"> 空気ボンベ容器14本の耐圧再検査を実施。 消防車両等の車検を22台実施。 岐阜県緊急消防援助隊訓練、消防救助技術東海地区指導会、岐阜県警防技術発表会への参加。 都市型ロープレスキュー資器材を清見出張所に配備。 						
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	空気ボンベ容器の耐圧再検査	本	目標値	12	14	45	14
		実績(見込)	12	14	45			
		算出根拠等	実績	達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	消防車両等車検整備	台	目標値	15	22	17	21
		実績(見込)	17	22	17			
		算出根拠等	実績	達成率(%)	113	100	100	
	活動指標	都市型ロープレスキュー資器材の整備	セット	目標値	1	1	1	0
		実績(見込)	1	1	1			
	算出根拠等	実績	達成率(%)	100	100	100		
活動指標	火災件数	件	目標値	36	32	34	34	
	実績(見込)	28	42	34				
	算出根拠等	消防年報	達成率(%)	78	131	100		
活動指標	救助出動件数	件	目標値	64	63	63	63	
	実績(見込)	45	74	63				
	算出根拠等	消防年報	達成率(%)	70	117	100		
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	車両、及び各種資器材は経年劣化に伴う修繕が目立つ。							

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 自動車燃料費の支出を抑えるため、緊急時以外の業務(防火査察、水利点検等)については車両出向の効率化を図る必要がある。 修繕料を抑制するため、点検業務の徹底を図る必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 車両、各種資器材の経年劣化等も考慮した維持管理を図るため、職員による点検回数、点検内容を充実させ、不具合部分の早期発見、早期修繕を行うことで、修繕料の支出減額に努めている。 今年度、都市型ロープレスキュー資器材を国府分署に配備する。配備箇所においては年間計画を立てて訓練を実施し、現場対応能力の向上を図っている。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
二次評価	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除く)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	14,902	14,734	16,110	21,311
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	157	157	173	228
	受益者	高山市民及び白川村民	(B)	94,616	93,807	93,308

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 災害対応力向上のための各種訓練、研修等 消防車両及び消防資器材の適正な維持管理 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 救助用資器材の整備 消防ポンプ車、救急車及びその他の車両の車検整備の他、突発的修繕の増加 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 多種多様化する災害に対応するための資器材等の更なる充実強化
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		16,110	21,311	5,201	15,210	15,210	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	830	1,379	549	820	820		
	一般財源	15,280	19,932	4,652	14,390	14,390		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	81140	救急事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
	款			8	消防費	基本分野		5	基盤・安全				
担当課	救急課	内線	2117	項	1	消防費	分野	9	消防	実施計画事業	H27実施計画額	千円	
				目	1	常備消防費	施策概要	4	救急体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	・救急業務を円滑に遂行すると共に、高度化、拡大された処置による救命率の向上を図る。 ・救命講習を通じて応急手当(AED)の重要性を理解してもらい応急手当の実施率の向上を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・救急救命士の有資格者養成及び再教育、救急隊員教育を実施する。 ・市民に対して救命講習会(AED講習)の受講の場を提供する。
対象者数		93,308 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・救急現場において実働が可能な新規救急救命士4名を養成した。 ・救急救命士の再教育(病院実習)を実施した。 ・薬剤認定救命士6名及び気管挿管認定救命士1名を追加した。 ・公募による普通救命講習の開催、事業所等各種団体からの要請による救命講習を実施した。 						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	救急救命士数	人	目標値	27	27	27	27
	算出根拠等	実働が可能な救急救命士の人数	実績(見込)	24	28	33	
活動指標	救急講習会等の開催	回	目標値	300	300	300	300
	算出根拠等	救急講習会等の開催回数	実績(見込)	312	317	310	
活動指標	現場到着時間所要時間	分	目標値	8.2	8.3	8.3	8.0
	算出根拠等	消防統計	実績(見込)	8.5	8.3	9.0	
成果面			達成率(%)	104	100	108	
	算出根拠等		目標値				
補足			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士が行う救命処置における拡大項目(薬剤投与、気管挿管)については、救急隊員の乗車数により処置の可否が左右されるため、応援隊の出動が必要となっている。また、平成26年4月1日から処置拡大2項目が更に認められ、これを実施するためには新たな追加講習等を修了することが必要となる。 ・応急手当の普及啓発を幅広く展開することで、より一層の救命率向上につながる。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県メディカルコントロール協議会が中心となり処置拡大2項目の追加講習等の検討が進められており、その進捗状況を把握しつつ、引き続き実働が可能な新規救急救命士を養成すると共に、薬剤認定救命士の育成事業を実施する。 ・救命講習会を今後も広く市民に受講できるよう開催する。 ・応急手当の普及啓発を各種マスメディアを活用、充実する。 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・救急救命士の病院実習と薬剤認定救命士の育成を今後も実施する。 ・救命講習会を今後も広く市民に受講できるよう開催する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	7,945	7,417	8,119	8,510
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	84	79	87	91
	受益者	高山市市民及び白川村民	(B)	94,616	93,807	93,308

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士の再教育(病院実習、出張研修) ・応急手当の普及のための救命講習会の開催 ・救急活動における救急資器材(消耗品)の購入、保守点検 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士の再教育履修、必修ポイントの取得(病院実習、出張研修) ・医療機器消耗品(除細動バッテリー、ケーブル、バックボード資器材)の計画的更新 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・挿管認定救命士の養成に必要な挿管実習は飛騨医療圏では受入先病院がないため、他医療圏の要請枠で実施しなければならない。 ・就業前病院実習等計画的に救命士を育成していく必要がある
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		8,119	8,510	391	7,744	7,744	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	8,119	8,510	391	7,744	7,744		
	一般財源			0				

平成27年度 事業別予算概要

事業名	81200	消防団運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総 計 画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市 長 公 約	市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
	種別			8	消防費	基本分野		5	基盤・安全	実施計画事業			
担当課	消防本部 消防総務課		内線	項	1	消防費	施 策 概 要	分野	9	消防	H27実施計画額	千 円	
	2119	目		2	消防団費	3		消防団の充実					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか (意図)	・火災を始めとする災害等から地域住民の生命・財産を守るという消防団の任務を果たすため、現役団員の活動環境向上と新規団員加入促進の両面から、消防団が迅速かつ的確に活動できる体制を維持し、市域における災害時の被害軽減等を目指す。	概要	事業の実施 手法(手段)	・消防団員の任免。団員報酬、出勤手当、退職報償金等の支給 ・消防団行事等の企画、運営 ・消防団施設・資機材等の維持管理、被服の貸与 ・消防団員及び団員を雇用する事業所等への各種表彰の具申
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・火災多発による非常事態宣言に伴う警戒・広報活動 ・花火大会等、イベントにおける警備を実施 ・組織等検討委員会を開催し、組織、定数、災害活動団員について協議 ・消防団応援事業所制度の加入事業所拡大 ・全国女性消防団員活性化大会は開催地として共催し、多数の団員がスタッフとして参加 						
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	災害・訓練への出勤	人	目標値	22,650	26,259	28,884	29,000
				実績(見込)	38,281	35,821	39,403	
	活動指標	訓練・研修会実施回数	回	目標値	90	90	90	90
				実績(見込)	94	105	100	
	活動指標	警備・予防活動等	回	目標値	30	30	30	30
				実績(見込)	53	52	50	
	成果指標	消防団員の確保	人	目標値	2,100	2,100	2,100	2,100
				実績(見込)	1,873	1,889	1,889	
成果指標	消防団応援事業所	事業所数	目標値	50	75	80	85	
			実績(見込)	68	78	81		
補足	<ul style="list-style-type: none"> ・警備、予防活動等、災害対応以外も含め多様な活動を展開 ・消防団員の減少傾向が続く中、活性化を目的とした事業を展開し、また地域での積極的な勧誘により、災害活動団員を含め現状を維持している。 							

3 分析・評価(Check)

H25決算における 分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域や支団に対し説明や協議を行い、組織の再編を進める。 ・消防団員の処遇充実や、雇用する事業所への表彰などにより、消防団員であることや消防団員を雇用することの社会貢献を評価し、市民に広く周知することなどにより、その社会的理解を深めていき団員確保に繋げていかなければならない。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・組織、車両台数が適正な規模になるよう、地域や支団の理解を得ながら組織再編を進める。 ・今年度消防庁で「消防力の整備指針」を改正するため、それに基づき団員定数を再検討する。 ・消防団員雇用事業所への表彰制度を開始するなど、団員の活動し易い環境づくりを目指す。 	
次年度の 実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な団員定数と車両台数になるよう組織再編を進める。 ・消防団員の入団促進及び団員の活動環境改善を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な消防力の検証を行うとともに、分団・班の再編を着実に推進する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	272,474	235,020	280,135	262,265
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2,934	2,552	3,058	2,863
	受益者	高山市民	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の報酬、報償金、賞賜金の支給 ・消防団員の公務災害、福祉共済などの福利厚生事業 ・消防団活動の運営に必要な被服整備などの各種事業 	要求の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員が安全に活動できるための福利厚生事業 ・安全かつ有効に活動できるための施設や装備、車両等の維持管理 	事業 実施 の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の安全確保、施設や装備品等の充実を図り、消防団の活性化につなげる。 ・消防団員を雇用する事業所に対する感謝状贈呈制度を発足し、消防団活動への理解協力につなげる。
------	---	-------------	---	---------------------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		280,635	262,265	△ 18,370	253,382	253,382	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	57,100	31,724	△ 25,376	25,400	25,400		
	一般財源	223,535	230,541	7,006	227,982	227,982		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	81300	消防施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総 計 画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約 ・市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
種別				款	8	消防費		基本分野	5	基盤・安全			
担当課	消防総務課	内線	2119	項	1	消防費	分野	9	消防	H27実施計画額	千円		
				目	3	消防施設費	施策概要	2	消防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	老朽化した消防施設を整備し、各種災害に対する消防力の強化と充実を行い市民の安全安心を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	消防団車庫整備計画に基づき、現地調査に基づく破損、老朽化の判定により整備対象と工事対象を決定する。修繕による長寿命化や、既存施設との統合を基本として整備する。
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・久々野支団小坊班車庫改修工事 ・高山消防署電話設備設置工事 ・錦平ヘリポート舗装修繕工事 ・消防救急デジタル無線設計監理業務委託 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	消防団車庫整備	箇所	目標値	2	1	7	2
				実績(見込)	2	1	7	
				算出根拠等 実績	達成率(%)	100	100	100
	活動指標	消防庁舎部分改修	箇所	目標値	1	1	0	1
				実績(見込)	1	2	0	
				算出根拠等 実績	達成率(%)	100	200	
	成果面			目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果面			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
成果面			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・建築年度だけでなく、現地調査により破損、老朽化状況を加味した団車庫整備計画に見直した。今後、組織再編、車両配置の適正化、老朽化の進行など、計画実施途上において、ある程度優先順位が変動する要素がある。 ・今年度以降の工事については一律に建て替えるのではなく、既存の公共施設を積極的に活用するほか、建物の損傷状況に応じリフォームなど最低コストで効果的な整備を行う。 ・消防救急デジタル無線及び高機能消防指令システム整備契約を完全履行して、工期内に完成させる必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の団車庫整備については、24年度見直した整備計画に基づき、既存の公共施設を積極的に活用するほか、建物の損傷状況に応じリフォームなど低コストで効果的な整備を行う。 ・設計通りの品質で工期内に整備を完了するよう監督する。 ・消防救急デジタル無線及び高機能消防指令システム整備 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づき、既存施設の活用、修繕など立地条件、損傷状況に応じた効率的な整備を行う。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団車庫整備については、分団・班の再編状況も踏まえつつ、消防団車両とともに、計画的かつ効率的に進める必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	9,803	13,173	16,000	9,218
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	106	143	175	101
	受益者	高山市民	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大野分署訓練塔A棟登攀板取替 ・白川出張所空調機器修繕 ・消防団高山支団招集システム統合事業 	要求のポイント	高山市防災行政デジタル無線化に伴う招集システムの整備	事業実施の課題	平成28年5月31日に消防救急アナログ無線が失効することに伴い消防団緊急伝達システムが使用できなくなり、現行の招集機能を維持する必要がある。
------	---	---------	----------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		16,000	9,218	△ 6,782	11,000	11,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他		540	540				
	一般財源	16,000	8,678	△ 7,322	11,000	11,000		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	81310	消防車両整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
	課			8	消防費	基本分野		5	基盤・安全					
担当課	消防総務課・救急課・警防課	内線	2119	項	1	消防費	実施計画事業	分野	9	消防	H27実施計画額	千円		
				目	3	消防施設費		施策概要	2	消防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民・白川村民	どうしたいのか(意図)	・火災を始めとする災害対応に万全を期すため、消防車両を常に万全の形で配備しておく必要がある。 ・老朽化した消防車両を更新し、消防活動の安全性と災害時の対応能力を向上することで、市民の安全を守る。	概要	事業の実施手法(手段)	・はしご車整備計画により計画的にオーバーホールを実施する ・「消防力の整備指針」に基づき、高山市において必要とされる消防団車両111台を25年間(平成22年度～46年度)において更新する。 ・BD-1型ポンプ自動車(日産サファリ)は納車後20～22年で更新、その他の車両は納車後23～26年で更新する。
	対象者数	93,308人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25実績	<ul style="list-style-type: none"> 団の消防ポンプ自動車2台(高山支団山玉班、上宝支団本郷班)を更新 資器材搬送車(高山消防署) 高規格救急自動車1台を更新(清見出張所) はしご車オーバーホール(高山消防署) 						
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	消防団車両更新	台	目標値	3	2	4	4
				実績(見込)	3	2	4	
		算出根拠等	実績	達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	高規格救急自動車	台	目標値	0	1	1	1
				実績(見込)	0	1	1	
		算出根拠等	実績	達成率(%)		100	100	
	活動指標	常備消防車両更新(水槽付消防ポンプ自動車)	台	目標値	1	0	1	1
				実績(見込)	1	0	1	
	算出根拠等	実績	達成率(%)	100		100		
活動指標	資器材搬送車更新	台	目標値	0	1	0	0	
			実績(見込)	0	1	0		
	算出根拠等	実績	達成率(%)		100			
			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に消防団車両の配置適正化を推進し、必要な台数の消防自動車を維持していかなければならない。 常備消防車両を更新するには、国庫補助を積極的に活用する。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 団の消防ポンプ自動車2台(清見支団夏蔵班、久々野支団小屋名班)を更新及び積載車2台(久々野支団久須母班、班防支団宇津江2区班)の購入。団車両の適正配置を各支団と協議する。 高規格救急自動車を更新する。(丹生川出張所) 水槽付消防ポンプ車を更新する。(高山消防署) 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 計画により、車両を更新し適正に維持管理する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 消防団車両整備については、分団・班の再編状況も踏まえつつ、消防団車庫とともに、計画的かつ効率的に進める必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	91,455	96,100	122,000	156,074
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	967	1,024	1,307	1,673
	受益者	高山市民及び白川村民	(B)	94,616	93,807	93,308

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 消防団ポンプ自動車2台の更新 消防団小型動力ポンプ積載車(普通車)1台の更新 消防団小型動力ポンプ積載車(軽自動車)1台の更新 常備消防の水槽付消防ポンプ自動車の更新(上宝分署) 高規格救急車の更新(上宝分署) 	要求のポイント	・消防車両整備計画に基づく車両更新	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 納車後、23～26年にわたって使用しなければならないため、長期間の使用に耐える車両を導入しなければならない。 充実強化を進めていくが、高額であることから、整備に併せた財源の確保を目指す。
------	---	---------	-------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		122,000	156,074	34,074	121,500	121,500	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	9,407	11,983	2,576	12,400	12,400		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	112,593	144,091	31,498	109,100	109,100		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	81320	消防水利施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	・市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
	款			8	消防費	基本分野		5	基盤・安全		実施計画事業		
担当課	高山消防署 防災課	内線	2117	項	1	消防費	分野	9	消防	H27実施計画額	千円		
				目	3	消防施設費	施策概要	2	消防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 防火水槽の耐震化や延命化を進めることにより、消防水利を確保して火災等の被害の軽減を図る。 地震災害時における消防水利の確保及び小型動力ポンプなどの整備により、地域消防力の強化を図る。 消火栓の維持管理について、水道業者と連携しながら移設、廃止等を含めた適正配置を行うとともに、保守点検を実施し、消防水利を確保し火災における被害の軽減を図る 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 防火水槽の経年劣化に伴う耐震性貯水水槽への更新 防火水槽の修繕・補強等による延命化の実施 消火栓の適正配置と維持管理
対象者数		91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水水槽更新整備と小型動力ポンプの整備 防火水槽の有蓋化と採水管の設置 防火水槽の漏水、水槽本体及びフェンス等の破損・老朽化に対する修繕 水槽内に堆積した汚泥の処理 						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
成果指標	消防水利施設修繕	箇所	目標値	5	6	12	9
			実績(見込)	4	17	13	
算出根拠等 実績			達成率(%)	80	283	75	
成果指標	防火水槽汚泥処理	箇所	目標値	3	4	4	4
			実績(見込)	3	2	2	
算出根拠等 実績			達成率(%)	100	50	50	
成果指標	耐震性貯水水槽整備	基	目標値	2	2	2	2
			実績(見込)	2	2	2	
算出根拠等 実績			達成率(%)	100	100	100	
成果指標			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				
成果指標			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				
成果指標			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				
補足	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水水槽の整備と同時に、初期消火活動に使用するための小型動力ポンプを整備し、地域の自主防災組織等に貸与することにより、地域の防災力強化に繋がっている。 消防水利施設整備事業から水利施設維持管理負担金(消火栓維持管理)を水道事業会計へ支出している。 						

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の経年による劣化が進んでおり、修繕対象箇所が増え見込まれ修繕費用の増加が予想される。 職員による修繕対応も、対象箇所が増えにより限界にきている。 排水不良消火栓が増加しており、その凍結防止対策について、効率的な水抜き対策の検討及び委託化などの検討が必要である。 老朽化が進む消防水利施設について、他の消防水利の状況を踏まえ、統廃合や廃止など、適正配置を検討する必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 消防水利の維持管理、修繕については、適切な配置や緊急度を判断し、優先順位を決定して効率的に実施する。 排水不良消火栓の改修については、上水道課と協議しながら継続的に実施し、職員による水抜き等の凍結防止対策を実施する。 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・コスト削減を図りながら必要な消防水利を維持管理する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	24,194	39,053	27,940	36,020
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	261	424	305	393
	受益者	高山市民	(B)	92,681	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水水槽整備計画に基づく既存防火水槽から耐震性貯水水槽への更新 防火水槽の修繕(躯体漏水修繕、フェンス修繕、給排水口等修繕、安全対策) 防火水槽の適切な維持管理(汚泥処理) 消火栓の適正配置と維持管理 地下式消火栓の地上化 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水水槽整備計画に基づく耐震性貯水水槽の整備 消火栓の機能保全と移設、廃止による適正配置 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 市内620基の防火水槽について、耐震性貯水水槽への更新整備を進めているが、用地が無く更新不可能な防火水槽の延命化が課題である。 各施設の老朽化が進んでおり、水利施設の修繕費が増加している。 消防水利維持管理負担金において、道路改良に係る移設工事分、維持管理に要する費用(突発修繕、排水不良改修、適正配置、町内要望対応)に区分して必要経費を算出する必要がある。
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		27,940	36,020	8,080	29,700	29,700	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	5,386	5,386	0	5,386	5,386		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	22,554	30,634	8,080	24,314	24,314		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	81330	消防資器材整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	消防計画	市長公約	市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
	款			8	消防費	基本分野		5	基盤・安全					
担当課	消防総務課・救急課・警防課	内線	2119	項	1	消防費	実施計画事業	分野	9	消防	H27実施計画額	千円		
				目	3	消防施設費		施策概要	2	消防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民・白川村民	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> 経年劣化した消防資器材の更新を適正に行い、迅速かつ的確な消防活動を実施する。 水・火災、震災等各種災害への対応能力を高めるため、消防団及び各支団の資器材の整備を図る。 確実かつ適切な救急救命処置を実施することにより、救急患者の救命率の向上を図る。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に資器材を整備し有効活用することで、総合的な消防力の向上を図る。
	対象者数	93,308 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25実績	<ul style="list-style-type: none"> 上下式防火衣更新、空気呼吸器用ボンベ容器の更新 消防用ホース購入 消防音楽隊の楽器購入 初期消火資器材の更新 						
	活動指標	上下式防火衣への更新	着	目標値	18	17	17	8
				実績(見込)	18	17	17	
	算出根拠等		実績	達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	ホース更新本数	本	目標値	103	127	103	86
				実績(見込)	103	116	80	
	算出根拠等		実績	達成率(%)	100	91	78	
	活動指標	自動式吸引器の更新	器	目標値	1	1	0	0
				実績(見込)	1	1	0	
	算出根拠等		実績	達成率(%)	100	100		
	成果指標	空気ボンベの更新	器	目標値	2	14	12	0
				実績(見込)	2	14	12	
算出根拠等		実績	達成率(%)	100	100	100		
成果指標	初期消火資器材(ホース)更新	本	目標値	70	60	90	70	
			実績(見込)	70	67	60		
算出根拠等		実績	達成率(%)	100	112	67		
成果指標	初期消火資器材(格納箱)更新	基	目標値	13	20	10	15	
			実績(見込)	13	14	11		
算出根拠等		実績	達成率(%)	100	70	110		
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 整備資器材を活用した訓練等を実施し、損害額の減額や救命率向上に繋げるなど、消防活動内容の充実にも努めなければならない。 消防団組織の活動強化のため必要な資器材を計画的に整備する。 高規格救急自動車の更新とは別に救急資器材の耐用年数等を考慮し、その整備計画を策定する必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な整備により、高圧ボンベ、消防用ホース、上下式防火衣を更新する。 消防団組織の活動強化のため必要な資器材を計画的に整備する。 高規格救急自動車の更新とは別に救急資器材の耐用年数等を考慮し、その整備計画を策定する。 														
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">担当課評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> 消防署、消防団で計画的に整備した資器材を適正に配置し、有効活用することで、総合的な消防力の向上を図る。 </td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">二次評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="2">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 消防署、消防団で計画的に整備した資器材を適正に配置し、有効活用することで、総合的な消防力の向上を図る。 	拡大	二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	拡大		縮小			廃止検討	
	担当課評価		○ 維持・改善		<ul style="list-style-type: none"> 消防署、消防団で計画的に整備した資器材を適正に配置し、有効活用することで、総合的な消防力の向上を図る。 										
拡大															
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)													
	拡大														
	縮小														
	廃止検討														

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	9,952	11,338	12,000	9,840
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	105	121	129	105
	受益者	(B)	94,616	93,807	93,308	93,308

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 消防用ホースの更新 消防団活動のための資器材整備 上下式防火衣の更新 自主防災組織へ貸与している初期消火資器材の更新 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材の計画的な整備により消防団体制の向上を図る 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 整備資器材を活用した訓練を実施し、損害額の減額や救命率向上につなげるなど消防活動の充実にも努めなければならない。 計画的に資器材の整備を進めているが、劣化が予想以上に進んだことによる不具合の発生や、事業内容の変化等に対応するため、計画の部分修正や見直しを図りながら順次整備していく必要がある。
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		12,000	9,840	△ 2,160	5,700	5,700	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	1,721	41	△ 1,680	29	29		
	一般財源	10,279	9,799	△ 480	5,671	5,671		